

プログラム

17:00 ～ 懇親会

【2日目 2月22日(日)】

- 9:30 ～ 12:00 シンポジウム1 「親子の物語が始まる時、私たちにできること」
座長：窪田 昭男（月山チャイルドケアクリニック）
村田 瑞穂（社会福祉法人大阪府障害者福祉事業団
医療福祉センター すくよか）
1. 胎児を喪った母のグリーフケア
遠藤 誠之（大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻
生命育成看護科学講座母性胎児科学）
 2. 胎児診断から親子の出会いを支える
永島絵理子（聖心女子大学現代教養学部心理学科）
 3. 周産期から始まる虐待予防
宮本 信也（筑波総合クリニック・筑波大学名誉教授）
 4. 多職種で考えよう 母と子と家族の心に響く支援
隅 清彰（愛染橋病院 総合周産期母子医療センター）
 5. 療育の場での親と子の出会いとラスト・ステージに応じた支援
船戸 正久（大阪発達総合療育センター）
- 12:00 ～ 13:30 昼休憩
12:10～♪40 分間のミニコンサート 吉川よしひろ氏スタンディングチェロ演奏
- 13:30 ～ 14:15 会長講演 「周産期精神保健研究会で学んだこと～親子の出会いとNBM～」
座長：平野 慎也（大阪母子医療センター）
講師：窪田 昭男（月山チャイルドケアクリニック）
- 14:15 ～ 16:15 シンポジウム2「親になるとは」
座長：宮川祐三子（一般社団法人 大阪府助産師会）
吉田 佳織（大阪母子医療センター）
1. 第8回大会長として伝えたかったこと
宮川祐三子（一般社団法人 大阪府助産師会）
 2. 親子における血のつながりとは
渡辺みはる（諏訪マタニティークリニック）
 3. 親になるとは～親の立場から～
小田 ゆみ（患者さんご家族）
 4. 親になるとは～早産児の親の立場から～
羽布津 碧（患者さんご家族）
- 16:15 ～ 16:30 10年を振り返って
側島 久典（日本周産期精神保健研究会）
船戸 正久（大阪発達総合療育センター）
橋本 洋子（山王教育研究所）
- 16:30 ～ 16:35 総会
- 16:35 ～ 16:40 閉会挨拶